



## 学会記事

### 第3回 応用地質フォトコンテストの報告 テーマ「地質に起因する自然災害」

事業企画委員会

日本応用地質学会は、応用地質学に関する調査研究の推進、技術の進歩普及と会員相互の交流を図り、学術・文化の発展に寄与することを目的とし活動しています。今回、「地質に起因する自然災害」をテーマとした写真を募集しました。応募人数19名(45作品)の中から、厳正な審査の結果、最優秀賞1点(賞金2万円)、優秀賞2点(賞金1万円)、入選1点(賞金5千円)、学生賞1点(図書カード5千円)が選ばれましたので発表いたします。

・応募受付期間：平成30年4月1日～12月31日

#### 1. 最優秀賞作品

- タイトル：「地震を乗り越えて」
- 撮影者：竹中 京一(たけなか きょういち)
- 撮影場所：熊本県阿蘇市
- 選定理由：地震による崩壊斜面を、縦の構図で捉えることによって、遠くまで延々と続く悲惨な被害状況がよく表現されています。その中で、既に平穀を取り戻したように、一頭の牛が草を食んでいる対照的な画がとても印象的な作品です。



写真-1 地震を乗り越えて

#### 2. 優秀賞作品 その①

- タイトル：斜面崩壊とダム
- 撮影者：片山 直樹(かたやま なおき)
- 撮影場所：島根県出雲市佐田町上橋波
- 選定理由：大規模な斜面崩壊を上空から撮影することで、道路寸断し川を閉塞しようとしている甚だしい災害の様子を、迫力をもって伝えている。遠方に見えるダムは、静かに湖水を湛えてなにごともなかったように、人々の生活を支えているようです。



写真-2 斜面崩壊とダム

#### 3. 優秀賞作品 その②

- タイトル：大規模地滑り
- 撮影者：藤利 充宏(とうり みつひろ)
- 撮影場所：奈良県川上村迫
- 選定理由：地すべりにより抉られ露出した岩肌が、災害の大きさを雄弁に物語っています。道路が大規模に破壊し寸断した大災害であったが、二次災害の防止工や、仮設道路による復旧の様子など、応用地質の素晴らしい貢献が見て取れる良い写真と思います。

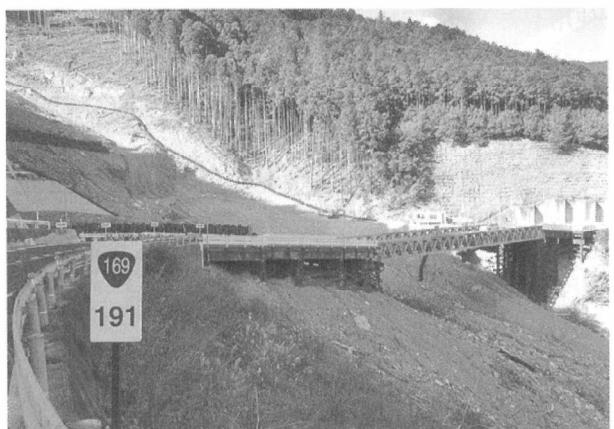


写真-3 大規模地滑り